

フィラデルフィア博覧会における建造と居住に関する家具および一般的使用の
出品物
近畿大九州短大 坂本久子

[目的] 1876年にアメリカ建国百年を記念して開催されたフィラデルフィア博覧会は、アメリカ諸州からの参加はもとより50ヶ国もの諸外国からの参加をえて、半年に亘って開催され、この間の入場者は1000万人近くになるという盛況を収めた。人、物、文化、情報などの一大交流地となったことが考えられる。Sherrill Whitonはこの博覧会が当時の人々に日常生活における芸術への重要性を認識させるのに大きな貢献をしたとしている。

本研究はアメリカの室内装飾史へのフィラデルフィア博覧会の影響をさぐる一助として、博覧会における家具および住関連用品の展示の実態について考察するものである。

[方法] International Exhibition 1876 Official Catalogue, International Exhibition 1876 Report and Awards Vol.IV, Masterpieces of the Centennial Exhibition Illustrated Vol. II by Walter Smith, Centennial Philadelphia by Richard R. Nicolai, 図説万国博覧会史 吉田光邦著、万国博物語 浜口隆一・他著
その他におけるフィラデルフィア博覧会と家具および住関連の出品物に対する分析と考察。

[結果] フィラデルフィア博覧会の出品物については、全体を7部門に大区分し、それを更に51グループに小区分し、小区分の中を更にクラスに分けて、出品物の分類をおこなっている。家具および住関連の出品物は、第2部門製造物のグループの中にある。ここには35ヶ国が出品しており、出品国のうちアメリカ合衆国が圧倒的多数で241の出展者数を記録している。家具の他にはカーテン取付具、ブラインド、シェード、鏡、額縁、テーブル・ウェア、銀細工製品、シャンデリア、ランプ、床材など多くの関連用品が展示された。